

平成19年度 高江中地区ふれあい市民会議（5月25日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
1-	峰山	平成20年度の柳山アグリランド事業の畜産事業への展開について、施設整備も含めて、市・県・国の支援・指導をお願いしたい。	畜産課	地域・市でできることの棲み分けをして支援。今後も地域主体の取り組みをお願いしたい。市としては公募型の補助金、単独予算の活用等を図りながら、サツマイモの栽培・地元のふくれ菓子・かからん団子等の製造・販売、地元の農産物の直売から始め、客を増やした後、次の段階にお互いに考えていければと考える。さしあたり必要な水源の確保、トイレの整備等支援できそうなら支援したい。	峰山地区コミュニティ協議会が展開している柳山アグリランド構想に関し、柳山アグリランドにおける水源確保のための水源調査（電気探査）を実施した。平成20年度は、水源調査（電気探査）結果に基づくボーリングを市単独事業で実施する予定である。			
1-	峰山	アクセス道路の整備として、市道の高江・寄田線と瀬戸地・田平線(延長約600m)の早期整備促進、林道の田平線の登り口直線化と離合場所の確保、カーブミラーの設置促進および林道田平線の延長線上にある市道高江・寄田線(400m)区間の離合場所の確保促進、林道の田平線と寄田青山広域基幹林道の車両通行支障の樹木伐採と除草の促進をお願いしたい。	林務水産課	林道田平線の登り口の直線化は、用地の確保や国県の補助事業では採択基準を充たさないため市の単独事業となり財政的な面で検討が必要である。仮に施工しても勾配が15～16%になるであろうが、バス等や離合に不便するのではないかと。離合場所の設置及びカーブミラーの設置は、県単事業により、平成20、21年度の2ヶ年で整備できるよう要望している。支障樹木伐採・除草については、現場を見て早期に伐採・除草していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>田平線の登り口の直線化は難しい状況にある。</li> <li>林道田平線及び寄田青山線の離合場所の確保については、20年度に離合場所を確保し砕石散布を行った。</li> <li>林道田平線及び寄田青山線の樹木伐採及び除草については、19・20年度に樹木伐採及び除草とも実施した。</li> <li>カーブミラーの設置については、20年度より年1箇所程度ずつ実施していきたい。</li> </ul>			
1-	峰山		建設整備課	市道高江・寄田線、瀬戸地・田平線は、年次的な整備を計画している。田平林道の先にある市道部分は、予算を確保し離合箇所等を整備したい。	現在高江・寄田線として整備中。			
2-	峰山	県道43号線の宮里浄化センターから高江インター間の都市計画決定区間の測量設計の促進と、特に県道猫岳峠の歩道設置は通学路であり先行して整備、県道高江インターから久見崎町間までの測量設計促進と直線化・拡幅・歩道設置・交通の見通しの悪い仮屋橋の欄干取替えなどの整備を促進して頂きたい。	建設政策課	要望区間は早急な整備が必要であると十分認識しており引き続き県に対し要望する。欄干の取替えは県は難しいとのことだが、交通安全の観点から別の交通安全策が取れないか検討したい。	本路線においては宮里地区、倉浦地区の2地区で事業が進められており、高江地区における事業着手は厳しいとのことであるが、歩道設置要望箇所についてはH20.6に地元協力をいただきながら暫定歩道を設置したところである。なお、仮屋橋については視距改善のためロードミラーを設置したところである。・・・H19秋ごろ市建設維持課にて対応			
2-	峰山	「食・農・住」接近の定住促進500戸のために高江インター周辺の農業振興地域10haの指定解除の促進	農政課	指定解除は、基本的には農業振興の面から困難が予想されるが来年度予定している「農振整備計画」で検討し国・県と協議したい。定住促進500戸は、具体的な計画が出たら、農用地除外要件を随時検討したい。	農振農用地の現況調査を実施したところであり、この結果等をふまえ、地元住民との意見交換により意見要望等を把握して、県と協議したい。			
2-	峰山	普通公園猫岳登山口への市道高江・圓僧線や農道、里道の整備を促進して頂きたい。	耕地課	農道整備は、県単事業等による農道整備だけの事業採択は非常に厳しく、受益者負担を伴うほ場整備事業等で農道・水路等を一体的に整備する方向で検討する必要がある。通学路として利用されている危険な箇所は優先順位を考慮し対応したい。	回答のとおり			

平成19年度 高江中地区ふれあい市民会議（5月25日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
2-	峰山	普通公園猫岳登山口への市道高江・圓僧線や農道，里道の整備を促進して頂きたい。	建設維持課	地区内の市道は危険性及び緊急性を検討し必要な箇所から維持修繕工事を行っている。市道高江・圓僧線も，危険性及び緊急性を判断し，今後，年次的に整備したい。県道から整備できないか考えている。	地区内の市道は危険性及び緊急性を検討し必要な箇所から維持修繕工事を行っている。市道高江・圓僧線も，危険性及び緊急性を判断し，今後，年次的に整備したい。県道から整備できないか考えている。			
2-	峰山	南九州西回り自動車道高江インター予定地周辺への国または県の「道の駅」「複合商業施設」等の誘致・設置に協力をお願いしたい。	観光課	南九州西回り自動車道川内隈之城道路開通後の高江IC周辺の交通量を見極める必要がある。また，道の駅等の物販施設は市外から人をひきつけるような地域の特産品の有無，採算性，他の既存類似施設との競合性等，全市的な見地から検討する必要がある。	回答概要のとおり			
3	峰山	「水辺の楽校」開校記念行事に間に合うよう，市の全ての整備が完成できるようお願いしたい。	建設整備課	本年度は排水ポンプ発電機室の移設と転落防止柵を整備する予定だが，年度内の全ての完了は厳しくお待ちいただきたい。	継続実施中。			
3	峰山	八間川「水辺の楽校」両岸堤防の市道高江循環線の舗装整備をお願いしたい。	建設維持課	危険性，緊急性を判断し通行に支障をきたす箇所から年次的に舗装したい。	危険性，緊急性を判断し通行に支障をきたす箇所から年次的に舗装したい。			
3その他	峰山	循環線の整備で旧児玉病院のあった60mについて，10年前から要望しているが実施されていない。	建設維持課	現場を見て検討したい。側溝の蓋については，どうかしたい。	工事を実施した。			
4	峰山	消防高江分団詰所および車庫の建替えについて	消防局	来年度，詰所の改築をする。	平成20年度予算計上済み			
5	滄浪	元の場所 元日和山周辺に記念碑を移し「想夫恋」踊り場を設置して頂きたい。	文化課	整備移設にあたり，進入路・駐車場の立地・環境条件等の整地の他，踊り場の管理等課題もあり，再検討の上，総合的に判断し，地元の意向も確認し日和山隣接の市有地に移設，踊り場の整備を進めたい。	H20年度移設予定。			
6	滄浪	地区名産のいりこ加工工場の裏道を保安林を抜け加治屋の巡回市道につなげバイパスを通していただきたい。	建設整備課	今後，条件の良い補助事業や財源の確保について研究したい。保安林の取り扱いについても整備するとなると出てくる問題なので研究をしていきたい。	計画されていない。			

平成19年度 高江中地区ふれあい市民会議（5月25日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
7	滄浪	原発避難訓練の『10Km圏内』の根拠について	防災安全課	原子力安全委員会が策定した「原子力施設等の防災対策について」（防災指針）の中で、原子力発電所の場合は、発電所を中心として概ね8kmから10kmの範囲を「防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲（EPZ）」としている。広報活動は10kmに限らず市内全域を対象に実施している。 万が一の場合でも、発電所から遠くなれば避難の余裕があるということで、発電所に近いところを繰り返し、積み重ね訓練している。	回答のとおり			
7	滄浪	全市的に配付する補助金等をもっとこれら3地区に振り向けて発展の原動力にして欲しい。	企画政策課	立地3地区への電源交付金の配分は、今後も地元住民の意見も伺い、発展を見据えた事業、道路や側溝の整備、防災安全対策等要望の高いものを中心に優先的に対処する。	H20当初予算、実施計画において、立地地区内の公園整備、道路改良整備事業に優先的に充当したところである。			
8	寄田	県道から上野、池ノ段両自治会に通じる道路整備を要望する。	建設整備課	上野自治会への連絡道路として市道寄田・上野線を整備中であり、土川・港線も平成19年度から測量設計を行い、年次的な整備を予定している。池ノ段自治会への連絡道路である市道新田・毎床線は今まで側溝整備を実施しており、幅員を確保しているが、大型車の離合箇所等は用地の承諾など条件が整ったら部分的な拡幅で対応したい。また、土川方面から県道の峠のところから池ノ段に昇る市道瀬戸野・池ノ段線も、離合箇所の設置や道路脇の枝等の伐採で対応したい。	上野地区は、完了。池ノ段地区は、維持的整備を行なう。			
9	寄田	寄田地区にあるグラウンドは、雨天後4日ぐらい水はけが悪く使用出来ないので改善していただきたく要望する。	建設整備課	いろいろ対策を考えなければならないと思うが、一つの方法として暗渠排水も考えているが、いろいろ検討させていただいて対応したい。	実施されていない。			
10	寄田	コミュニティセンターの2階の利用に際し、高齢化をかんがみ、階段の整備とかエレベーター取り付けなどをしていただきたい。	コミュニティ課	市内には、寄田地区のような2階に大会議室があるコミュニティセンターが20箇所ある。地域の高齢者等の状況、会議室の利用頻度、地区の代替施設などの状況を勘案し、予算の許す範囲で施設の改善をする。	寄田地区コミュニティセンターについては、平成20年度に予算計上し、工事予定である。			

平成19年度 高江中地区ふれあい市民会議（5月25日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
その他	—	コミュニティセンターに火災現場がどこかという電話が多い。消防が、どちらから火災の現場について一報いただきたい。それと、もし分署に誰もいないとき、火災でも起きたら、誰がそれを教えるのか。市の有線放送もあるのでそういう有線放送でも流してもらえればと思う。	消防局	消防のテレホンサービスというのがあるが、火災時は回線が混雑する。消防団員には、携帯へメール配信システムを行っている。消防車両は出場の際に 町付近の火災に出場中というのを放送しながら走行している。それでも足りないものについては早い時期に全市域に各世帯に受信できるもの等を予定している。広報手段については、市長と十分協議をしながら対応したい。	薩摩川内市が現在防災行政無線をデジタル化へ向けた整備をおこなっているが、整備が完結した後、状況の中で、消防局から放送が可能であれば、火災発生の際についても検討してまいりたい。			
その他	—		防災安全課	火災については防災行政無線で放送していない。屋外放送局を今年度、基幹部を整備して、その中で、本庁から、支所から、消防局から放送ができるように今年度に整備したいと考えておりますので、そこ辺りは、今後消防局から放送してもらおうか。個別受信機を全世帯に配付する中で自治会から、あるいは地区コミから放送ができるようなかたちで整備していきたいので、今後また検討していきたい。	平成20年度より、防災行政無線デジタル化整備事業を実施します。この事業の中で、消防局内に、放送設備を整備していくこととしており、必要に応じて、火災情報の放送が可能となります。放送すべき火災情報の内容、範囲については、今後消防局において、検討して参ります。			
その他	—	久見崎川は市の管轄か、県の管轄かは分からないが、土砂がたまって、川に葦が生えている。ところが、雨が降らないときは1mくらいで水が流れているが、あの土砂を何とか取り除いて欲しい。	建設維持課	久見崎川には第一と第二があるが、第一でよろしいでしょうか。現況を見させていただいて、対応する。	久見崎川のこの区間は、県管理の箇所であることから、県に現地調査をしていたが、緊急性及び危険性並びに今後の財政上を勘案して検討していただいている。市としても、要望を継続していきます。			
その他	—	くるくるバスの時刻表につきまして、川内発1時の次は、午後3時56分しかありません。午後3時の前に1便増やして欲しい。	商工振興課	バスの件については只今のご意見を持ち帰り、検討し、もし対応できるようであれば対応したい	現在は、運行便数の増便は、困難であるが、現在の便数を工夫し、運行時間を調整して運行する方向で事業所と協議中。将来的には、他路線と併せて見直しを行い、増便できないか協議していく。			

平成19年度 平成中・高城西中校区ふれあい市民会議（9月3日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
1	八幡	水害が2度と発生しないように、川内川今村第1樋門（発動機式ゲート）及び第2樋門に予備的水中ポンプの設置をお願いする。	建設維持課	今後、昨年の豪雨を踏まえ、排水能力を向上させるための方策をいろいろ検討してまいります。たとえば、河川の伐採・浚渫、排水ポンプ車の追加配備、排水ポンプの設置など。	左記の通りであり、現段階では難しい			
2	八幡	旧下東郷中学校体育館を活用する計画の可否、また起債の返済状況と体育館の解体について教えてほしい。	財産活用推進課	平成16年からは、スポーツクラブの体操会場として活用していただいていたが、建物の老朽化等に伴い借り手がいない状況である。また、起債の返済については償還済みであり、国庫補助金の返還も発生しません。解体となると高額のコストがかかり、現在の財政状況からは難しい状況であるため、安全対策に留意しながら現状のまま維持管理することとしたい。	解体の方向で検討中（時期不明）			
2その他	八幡	八幡小学校の運動広場が狭く、活動に支障があるので体育館の解体を、今後計画に入れていただきたい。	財産活用推進課	本年は、小学校のプールを移転改築したので、体育館の解体は今後検討していきたい。	解体の方向で検討中（時期不明）			
3	高来	高城川右岸に幅80m～30m、長さ500m程度の河川敷があり、雑草木が繁茂し、不法投棄や害虫発生の根源となっている。環境美化と健康増進の面から、この場所を伐採、整地して運動広場やジョギングコース等を設置してもらいたい。	建設整備課	河川管理者である県河川港湾課に、伐採等の要望の趣旨を説明したが、同様の要望地区箇所が多数寄せられており、県の財政状況からも、河道敷内の堆積土の除去、伐採しか実施していないということだったが、県が実施している水辺環境サポート事業で、地域ボランティア伐採作業の活動による登録等をしてもらい、地元の熱意、意気込みを示し、地元と市及び県と連携をとりながら高水敷の活用できる整備事業を研究したい。	再三県へも要望しているが、実施に至っていない。			
4	高来	京セラ川内工場の増設に伴う埋立地周辺の排水・水害対策について。抜本的な対策を講じられたい。雨水対策が緊急課題である。	建設政策課	京セラ川内工場増設のための敷地の造成工事は、地権者や地元の協力により本年5月末に完了した。造成地周辺の排水対策については、造成工事に引き続き、排水先となる排水路や公佛川に堆積した土砂等の除去を行ったところである。抜本的な対策については、まず現地調査を行なった。今後、どのような対策がとれるのか、具体的・技術的検討を行うこととしたい。そのための予算の確保を行い、その検討結果に基づき、とれる対策から対応していきたい。	H20年度に建設維持課にて内水解析を行う予定			
5	城上	市では、子供を産むと月々5千円支給の他に、紙おむつ代として年1万8千円を支給しているとのことだが、今回市に請求したところ、市に1年以上住んでいないと支援の対象にならないと言われた。改善していただきたい。	子育て支援課	「すくすくベビー券支給事業」という市単独事業で、手当支給等については、それぞれの条例、要綱の支給要件のなかに、「本市に住所を1年以上有する者」と「税等の完納」を規定している。国の補助事業は住所要件等の規定はしませんが、市の単独事業は税金が財源となりますので、平等・公平性から要件としているところである。	市単独事業すべての子育て支援事業について、平成20年度から住所要件の「1年以上」を「3ヶ月以上」に改正して、支援が受けられるように改正した。			

平成19年度 平成中・高城西中校区ふれあい市民会議（9月3日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
5その他		子育て支援事業の説明では、妊娠して転入された方には該当しないので、市単独事業すべての子育て支援事業の住所要件「1年以上」を、「出生後4ヶ月の検診後」に改正して、支援が受けられるよう検討していただきたい。定住促進の環境づくりにもなる。	子育て支援課	市の単独事業であるので住所要件を規定してある。定住促進にも繋がるので検討していきたい。	市単独事業すべての子育て支援事業について、平成20年度から住所要件の「1年以上」を「3ヶ月以上」に改正して、支援が受けられるように改正した。			
6	城上	県道吉川・川内線は車輛通行量が多く、朝夕はラッシュ状態である。城上地区の今寺から運動公園に通ずる向鶴線の拡幅改良工事が最善策と思われますので要望する。	建設整備課	平成17年度のふれあい市民会議でも同様の要望が出され校区での優先順位をお願いしたところ、市道今寺・松岡線を優先したい旨の申し出を受け、平成18年度から測量設計を行い今年度から工事を実施したい旨の地元説明会等を行っている。財政上2路線同時の実施は厳しいため、まずは市道今寺・松岡線を優先したい。	平成19年度より市道本城・瀬ノ岡線を整備中。			
7	陽成	陽成地区の最大の振興策であり、又地区浮揚の基本的対策として、再度借上型地域振興住宅の継続建設を進めていただきたいと要請する。	建築住宅課	陽成地区は平成18年度に借上型地域振興住宅を、2棟2戸建設したところである。平成19年度は東郷町山田地区等に計画している。今後、この借上型地域振興住宅を継続的に建設して行く計画ですが、住宅の供給地域の選定については、市全体の地域振興住宅のバランスを考慮しながら事業を図っていきたい。	借上型地域振興住宅を継続的に建設して行く計画ですが、住宅の供給地域の選定については、市全体の地域振興住宅のバランスを考慮しながら事業を進めて参りたい。			
8	陽成	本川・上大迫線、未整備箇所を早期完成を要望する。	建設整備課	市道本川・上大迫線については、今年度から測量設計業務を行い継続的に工事を実施する予定である。	継続実施中			
9	吉川	地域の活性化を生み出す為には、学校は必要であり、是非残して欲しい。	学校教育課	現在、吉川小学校の地元の子供は5名であるが、特認校制度により校区外からの14名の児童を迎え、総計19名の活気ある学校となっている。しかし今後の児童数の推移を見ると、平成20年度～23年度の児童総数が3名、24年度に2名、25年度に1名、その後、28年度には0という予測のデータがある。このような状況から、学校の存続を考えると、今後は特認校制による児童数の確保に頼らざるを得ないところがある。その場合、極小規模校として存続していくことが児童の教育上適切か、地域の活性化と学校の存続とをどのように考えていくか、またPTA活動の運営はどうなるのか等の課題があり慎重に検討していかなければならないと考えている。	教育委員会では、「市立学校通学区・適正規模等審議会」に学校の通学区や適正規模等をどのように考えていけばよいか審議をお願いしているところである。今後、審議会の審議結果をもとに、子どもの教育はどうあるべきかという視点に立って、通学区の見直しや適正規模化を踏まえた学校の再編等についても慎重に考えていきたい。その中で、教育の機会均等や財源などの面から問題が指摘されている特認校制度の在り方についても、検討したいと考えている。学校存続を考えると今は特認校制度による児童数確保に頼らなくてはならない状況もあるだろうが、保護者や地域の方々にも、子どもの教育に視点を置いて、学校の適正規模化や統廃合等についても御理解・御検討をいただきたい。			

平成19年度 平成中・高城西中校区ふれあい市民会議（9月3日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
10	吉川	吉川地区は、携帯電話の不感地域であり非常に不便である。中継アンテナの早期設置を働きかけて欲しい。	情報政策課	薩摩川内市域の移動通信用鉄塔施設の整備については、要望の寄せられた地域の世帯数、地域の状況、設置費用等を考慮し優先順位を判断して、計画的で効果のある整備を実施していくこととしている。吉川地域については、平成20年度で整備できないか、通信事業者に対して事業参画の働きかけを行っていききたい。	平成20年度で通信事業者（au）により単独整備される。			
11	湯田	市道一条殿・峠路線について、陽成地区との基幹道路である為交通量が多い。またカーブが多く大変危険である。地域住民の生活道路となっていることに鑑み、優先的に整備を要望する。	建設整備課	本路線には、平成17年度まで改良工事を行ってきましたが、相続関係で登記が困難なため整備できていない箇所が一部残されている。測量設計費を予算化していますので今後、地元と協議しながら検討してまいりたい。	平成19年度より継続実施中			
12	湯田	少子化に伴い児童生徒数が激減している。少子化対策として、幼稚園、小学校、中学校の一貫教育で地域の親を教育面からサポートし、少子化に歯止めをかけたい。ぜひ実施を要望する。	学校教育課	湯田小学校、高城西中学校については、立地条件としては、併設型の小中一貫校の設置に適していると考えている。しかし、設置に向けては、まず湯田小学校と西方小学校との統廃合という課題を解決する必要がある。併せて、現在、西方小学校の特認校生を除いた2小学校の児童総数は33名であるが、6年後には、湯田小9名、西方小4名の計13名の極小規模校になる見込みであり、小中一貫校として適切な規模であるかどうかも見極めていかなければならないので、今後検討してまいりたい。	教育委員会では、「市立学校通学区域・適正規模等審議会」に学校の通学区域や適正規模等をどのように考えていけばよいか審議をお願いしているところである。今後、審議会の審議結果をもとに、子どもの教育はどうあるべきかという視点に立って、通学区域の見直しや適正規模化を踏まえた学校の再編等についても慎重に考えていくことになるが、その中で小中一貫教育を視野に入れた学校再編についても考えていきたい。			
13	西方	風水害・地震・津波等の緊急時の避難所への通路確保について、西方駅からコミュニティセンター、西方小学校へ通る避難道路の新設を要望する。	建設整備課	平成18年度に松山川の国道3号下の狭小部についてバイパス工事が完成したことにより効果が現れるものと考えている。跨線橋の新設については、財政的にも厳しいため予定をしていない。	平成19年度より国道の歩道整備で対応中。			
14	西方	西方定住希望者に対する対応について、中古住宅の改造費の助成及び市の借り上げ住宅としての活用、市営住宅及び県営住宅の新設を要望する。	企画政策課	現行の定住住宅取得補助金制度は平成20年3月までであるので、本年度中に制度について再検討するとしており、定住者のリフォームに対する補助についても十分検討したい。	平成20年度以降も定住住宅取得補助は継続を行っている。また、平成20年度以降リフォームに対しても補助制度を新設したところである。			
14	西方	西方地区については、借上型地域振興住宅を計画している。建設年度については、今後、場所の選定や入居希望者の状況を見ながら検討して参りたい。また、県営住宅の建設計画は無いということでした。	建築住宅課		平成20年度建設で、建設のための公募の準備中である。			

平成19年度 平成中・高城西中校区ふれあい市民会議（9月3日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
その他	—	荒れた山が多く、孟宗竹が繁茂し植林地を侵食している。除間伐補助金を上げてやる気を出す方策をしてほしい。 また、除間伐の人的支援策として農業公社の活用又は同じ公社を作っていただきたい。	林務水産課	治山対策、温暖化対策等森林の持つ多面的な効果があり、山の必要性は十分認識しております。農業・水産・森林等後継者育成は困難である。人的支援については森林組合と協議をしたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林組合においては、切捨間伐から利用間伐へ転換を図り、森林所有者へ利益が出るような取り組みを進めている。</li> <li>・市は20年度において、間伐に対する上乗せ補助の予算を増額し、間伐促進に対応している。</li> <li>・人的支援策としては、森林組合で対応するように進めていきたい。</li> </ul>			



平成19年度 川内北中校区ふれあい市民会議（11月16日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
1	亀山	京泊・大小路線の北側，五代公園付近から新川石油五代SS付近まで，人家の少ないところにバイパスを考えて欲しい。	建設政策課	当該バイパスについては，現在県においては計画はないところであり，また，厳しい財政状況もあり徹底した事業の絞り込みも行われている状況から，新規の事業化は現在整備中の区間の状況を見て判断したいとのことで，まずは，整備中の区間の早期完成を図るとの考えである。厳しい状況であるが，要望の区間についての整備の必要性については交通安全上も認識しており，今後も県に対し，整備要望を行っていききたい。	回答のとおり			
2	亀山	高城川堤防立ち木について，防災会議質疑の中でも検討されたが，大雨を想定し，立ち木の撤去をお願いしたい。	建設政策課	高城川は県管理の一級河川である。県としては，限られた河川維持費の中，防災的に危険性の高い箇所から優先して寄洲除去や伐採作業を実施しており，高城川の当該区間については，河川改修を終えた区間であることから，他河川との調整を図りながら実施していくとのことである。また，県は，地域住民等による県管理河川等の清掃美化活動等を促進するため「みんなの水辺サポート推進事業」でボランティア活動を支援しているところであり，皆様方のご協力もお願いしたいと考えている。本市としては，立竹木の状況等を把握しながら，防災的な面から優先度を考慮され，年次的な伐採が実施されるよう，今後も引き続き，県に要望を行っていききたい。	回答のとおり			
3	亀山	市道永田・軍原線は，出入口は道幅が約2mと非常に狭く，車での出入りがしにくい状況である。全線ほぼ同じ状態で，人・自転車と軽自動車さえ離合することが出来ない。今後，若宮地区の緊急災害に対応するためにも道路の拡幅について早急に検討していただきたい。	建設整備課	長年にわたり，拡幅要望の声が上がっているが，一部境界問題等により実施に至っていない。建物補償等課題も多い路線であり，慎重に調査検討したい。当地域では，現在，御陵下・下五代線を整備中であり，まずは，そちらを優先して完成させたい。	計画されていない。			
4	可愛	上川内駅南側踏切から，御陵下運動会館横の市営グラウンド前交差点へ通じる道路沿いを，隣接する排水溝のガードレールと信号待ちの車両を縫うように，小・中学生の子どもたちが通学している。事故を未然に防ぐ手立てとして，排水溝にコンクリートの蓋をして，安心・安全な歩道として活用できないか検討していただきたい。	建設維持課	市道御陵下瀬ノ岡線のこの区間は，幅員は8.5mあるので，歩行者と車両の通行を区分したいということで，まず最初に中央線・路側線等区画線の設置を行いたい。この区画線の表示を行ったあと，通行状況を見ながら蓋版設置について検討したい。	区画線の設置を行ったところであり，今後の状況を見守りたい。			
5	可愛	後牟田川の川面に建築されている国道3号線に面した家屋が，洪水時において，上流から流失される木片や雑草，諸雑物のため堰状態になり，通行に支障をきたす恐れがある。今後の改善と処置をお願いしたい。	建設維持課	河川の維持管理上，好ましくない状況である。現在は，人が住んでいないため，家屋の所有者等に河川上に跨る部分の撤去についてお願いして参りたい。また，併せて，市でも出水期には，重点的にパトロールを行う。	左記回答概要の通りでありますので，御理解と御協力を御願いたします			

平成19年度 川内北中校区ふれあい市民会議（11月16日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
6	可愛	銀杏木川、九礼橋は、平成18年の架け替え工事で川に降りていくための階段を施工していただいたが、階段の降り口にはガードレール（支柱）にロープ2本で立ち入り禁止のようにしてある。しかし、簡単に進入できるような状態であるため増水時など川に落ちるなどの惨事が起きる前に、フェンス（可動式のもの）を設置し、危険な状態にあるときは進入できないようにしていただきたい。	建設維持課	河川の階段は、本来、既設の復元あるいは住民の方の要望で設置するほか、河川の維持管理や消防水利を行う時に役立つことや、地域住民が利用することを目的としているが、現在は、歩行者等危険防止のためロープを張っている状況である。県としては、階段に隣接し通学路があることや、設置目的等を勘案して、増水時に子どもたちが立ち入らないよう注意看板を今年度設置したいとのことだった。本市としては、親水性を保ち、自然に親しんでほしいと考える反面、河川は大雨時には増水して大変危険な状態になってくるので、安全確保のために、フェンスなどの設置について県に要望していきたい。	左記回答概要の通りでありますので、御理解と御協力を御願いたします			
7	育英	昨年7月の鹿児島県北部豪雨の際、中郷川・瀬口川は排水ポンプ能力不足のため内水排除が間に合わず地域一帯が氾濫し、床上浸水、国道267号線他市道が冠水し交通不能になり総合運動公園へ避難しようにも行くことが出来ず、消防団の援助に頼らざるを得ない事態も発生した。市の見解は、排水ポンプ車・臨時ポンプの設置で対応することのだが、大規模面積の運動公園が開発された現在、降雨時下流の中郷上池・下池の貯水量を超えた水は中郷川に流れ、その流量増加速度は異常なまでに加速されるため、排水ポンプや臨時ポンプの設置を待っていたのでは間に合わない。是非ポンプの増設又は能力アップの対応をお願いしたい。	建設維持課	排水ポンプ車・臨時ポンプの設置で対応することとしているが、昨年の状況を踏まえ中郷川の排水ポンプ増設についても検討してまいりたい。	排水ポンプ車・臨時ポンプの設置で対応することとしているが、昨年の状況を踏まえ中郷川の内水解析を行い排水ポンプ増設等が必要か検討してまいりたい。			
8	育英	城の橋付け根の修復につきましては昨年度事業で実施されましたが、その上流部左岸約50mにわたり、降雨時河川側壁の崩壊のおそれのある部分が存在する。万一大雨となり、土砂崩壊が発生すれば土砂や竹・木は中郷川を流下し、山田島水門をふさいでしまう。当該排水ポンプが不能になった場合、中郷地区の大半が浸水する危険性があり、早急な対応をお願いする。	建設維持課	ご要望の自然護岸の区間については、重点的にバトロールを行い、崩壊等が起きた場合は、早急な処置が出来るようにしたい。なお、護岸等の整備については、災害復旧工事での対応を考えておりますので、現時点では手をつけられない状況である。なお、竹や立木の除去など地元での作業が困難な場合は、市に連絡いただければ、すぐに市の方で対応したい。	河川に倒れている竹などの除去を行いました。護岸の整備については、状況を見守りたい。			
9	育英	くるくるバスが中郷山田島の諏訪元商店まで入っていただけるよう検討していただきたい。	商工振興課	路線延長は、運転手の増員等が必要となり経費が増えることとなるため困難である。12月1日から、新たに100円均一の北部循環バス2コースの運行を予定している。その内、城上吉川循環線については、川内駅から育英地区を通り東郷・八幡・高城方面へ回って川内駅へと循環するもので、西回り、東回り合わせて6便を運行いたしますので、こちらをご利用いただきたい。	料金1回100円の北部循環バス・城上吉川循環コースを1日8便H19年12月1日から運行を開始した。			

平成19年度 川内北中校区ふれあい市民会議（11月16日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
その他	-	中郷詰所にいた消防団員である職員が、高江の責任者として行くことになったが、それはおかしいのではないか。	防災安全課	基本的には地元の職員を配置するようにしているが、場合によっては、隣の詰所に行くことがあります。今後は、地元の職員を配置するよう固定していきたい。	基本的な要員配置の考え方は、出身地域への配置であります。しかしながら、本庁・支所への要員配置など、全体的な調整の中で、やむを得ず、他の地域への配置があることを、ご理解いただきたいと思えます。本件につきましては、平成20年度において、見直しいたします。			

平成19年度 川内中央中校区ふれあい市民会議（10月26日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
1	川内	<p>前回の市民会議の際にもあげた議題であるが、前回の回答ではインターが完成すれば国道3号線の通行車両も減り、歩行者天国の開催についても可能になるだろうということだったが、その間にも商店街は日々活気を無くしつつある状況をふまえ、その間の行政の実現可能な年次計画について具体例を伺いたい。</p>	商工振興課	<p>国道3号が国直轄の幹線国道であることから、現時点では、交通管理者である警察、道路管理者である国が、許可する可能性は極めて低い。ただし、今後の南九州西回り自動車道の整備後に備えて、必要な情報収集に努めたい。それまでの間の、中心商店街活性化策としては、商工会議所や商店街の方々等と協力しながら、次の5つの施策を中心に取り組んでまいりたい。</p> <p>第1に、国道3号の歩道部分や周辺市道等を活用した商店街活性化イベントの定期的開催。</p> <p>第2に、チャレンジショップなど、空き店舗活用事業の実施。</p> <p>第3に、大型店ほか集客施設の中心市街地への誘致。</p> <p>第4に、街なか居住促進など、中心市街地活性化のための新しい基本計画の策定。</p> <p>第5に、活性化事業の実施主体としてのまちづくり会社の設立。</p> <p>これらに積極的に、取り組んで参りたい。</p>	<p>1 中心市街地再生を目的に、中心市街地の多くの中小事業者が出資し（市も300万円出資）平成20年4月30日に㈱まちづくり薩摩川内が設立され、空き店舗対策などの活性化にむけた事業を取組んでいる。</p> <p>2 また、中心市街地活性化法に基づく中心市街地活性化基本計画の国の認定を目指して、中心市街地活性化協議会の意見を受けるなど、街なか居住の推進する施策も掲載した基本計画素案を作成している。</p> <p>3 基本計画素案にも掲載されているが、中心市街地商店街、川内商工会議所、市及び㈱まちづくり薩摩川内が一体となって、国道3号太平橋通りの歩道占用や十文字通りの道路占用を行い、年3回の統一イベントを行っている。</p> <p>4 中心市街地の大規模未利用地の積極的な活用を図るため、市役所跡地への商業施設の誘致活動を行っている。</p>			
2	川内	<p>中心市街地の活性化を図っていくためにも、街なかへの居住を促進することが必要である。「コンパクトシティ」が目指す条件は、向田地区周辺にはそろうている。公共施設が集中し、買い物・病院等のアクセスも良いため、居住するには最適な地域である。ただ、居住する住宅の不足・家賃の高さ等の問題がある。この問題を解決するために、民間活力を利用した借り上げによる公営住宅整備や、民間が作る共同住宅（優良建築物整備事業）への助成事業等を整備していただきたい。</p>	建築住宅課	<p>本市の公営住宅整備は、平成17年度に公営住宅ストック総合活用計画を策定し、市営住宅の整備、管理の基本的な考え方を定めている。その活用計画での基本方針に、ストック（既存の建物）の有効活用、民間活力の活用等を掲げており、現在、公営住宅ストック総合改善事業（市営住宅の建物等の改善事業）や過疎地域における定住促進を目的とした借り上げ型地域振興住宅を年次的に実施しているところである。</p> <p>当地域では、向田本町にある市有地に民間の方に住宅を建設していただき、市が市営住宅（公営住宅）として借り上げ運用する方法や遊休民地に建物を建設していただき、その一部の階を市営住宅として借り上げ、その他の階については、店舗やマンションなどで活用する方法などが考えられる。</p>	<p>平成19年度策定した薩摩川内市中心市街地活性化基本計画において、中心市街地は空洞化・ドーナツ化が進行し、空き店舗や空き地が増加しているため、賑わいあふれるコンパクトシティを目指し、居住人口の増加を目標の一つに掲げている。</p> <p>しかし、当地区には公営住宅がなく、また、まったく土地を購入することも困難なため、土地所有者等が建設する賃貸住宅を本市が住宅に困窮している市民に対し、転貸しするための公営住宅として借上げる制度を創設することにより、利便性の高いまちなかでの居住推進を図り、中心市街地の活性化に寄与すると共に、多様な市民ニーズに対応した住宅供給及び市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するものであり、平成20年度にこの制度を検討する計画である。</p>			
3	川内	<p>国道3号線から平佐方面に抜ける横馬場町、山形屋駐車場と市民駐車場の間の祇園橋は幅が非常に狭く、自動車の離合もぎりぎりなため、自転車や歩行者が常に危険にさらされている。この橋に歩行者専用道路を取り付けて欲しい。</p>	建設整備課	<p>抜本的な橋梁架替については、道路整備や財政状況に併せ整備を検討する必要があり、早急の実施は難しい状況である。そこで、歩道橋設置を現在の橋に併設するという考え方もあるが、太陽パレス側も含めて簡易で安価な歩道橋（鋼材使用による）が設置出来ないか、河川管理者である県等と協議をさせていただきたい。</p>	<p>県と協議中。</p>			

平成19年度 川内中央中校区ふれあい市民会議（10月26日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
4	平佐西	川内駅東側区画整理事業に伴い多目的要素の建物及び広場が建設されると聞いている。薩摩川内市全体の生涯学習のためのコミュニティの場となるホール、会議室、展示場、図書室、学習室等、住民が気軽に利用できる施設、その他憩いの場になるような施設を作ってもらいたい。	企画政策課	施設は、市のシンボリックなもの、文化的なものを考慮して、若い世代、高齢者など広く意見を聞いて将来構想を練っていききたい。 薩摩川内市総合計画基本構想の中で、複合的な拠点施設としての整備を図りたいとし、総合計画実施計画の平成19～21年度計画に、整備メニュー、整備手法等についての調査・検討を行うこととしている。財政運営の面からも、今すぐに公共施設を中心とした複合拠点施設を整備することは難しい状況だが、今後、生涯学習施設を含め、市民の皆様が求める機能の把握に努めるとともに、民間の活力を導入した整備手法、整備時期について、検討して参りたい。	九州新幹線全線開業に向け、川内駅周辺地区のまちづくりに関する施策等について、検討する庁内研究会を設置し、園中で複合拠点施設用地の活用について、具体的な検討を行っていく。			
5-1	平佐西	外環状線のタイヨー永利店から天大橋通りまでの間、天辰アグリ館までの通り抜けの延長道路の早期着工と完成、又同時に信号機の設置をお願いしたい。	天辰区画整理推進室	交通量の分散を図るため、未整備である区画整理区域内の延長約200mについては、今のところ平成22年度に完成の予定である。また、（純心女子大学下のT字）交差点への信号機の設置については、県の公安委員会に要望している。	永利天辰線の区画整理区域内の未整備延長80mについては、平成20年度に支障建物等の移転を終え道路整備に着手し、平成21年度中に完成の予定である。また、大学通線との交差点の信号機設置についても、警察や公安委員会と綿密に協議を重ね、供用に併せて設置できるように調整したい。			
5-1		中央中から外環状線に抜ける市道も道路幅が狭く車の離合も困難である。中、高校生の通学路になっているので、道路の拡幅工事と信号機の設置を要望する。	建設整備課	市道横馬場・田崎線交差点から市道平佐・吉野山線（通称大学通り線）の区間は、地権者の同意が得られず拡幅できないのが実情である。今後、地権者の協力が得られたら、地域の道路整備の優先度等考慮しながら整備について検討したい。また、この地点の信号機設置につきましては、県公安委員会の管轄になるので、道路整備の状況と見合わせながら、継続的に要望していく。	計画されていない。			
5-2	平佐西	市道の横馬場町の春田川にかかる、ぎおん橋が取り付け道路に対して極端に狭くなっている。子どもたち、おもに中、高校生の通学路にもなっています。横馬場 田崎線の整備が進むと交通量が更に増加されることが予想されるので拡幅工事や歩道増設などの安全対策を考えてもらいたい。	建設整備課	議題3と同じ	県と協議中。			

平成19年度 川内中央中校区ふれあい市民会議（10月26日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
6	平佐西	平佐西地区は犯罪件数が突出して多発しているが、川内駅東側方面に派出所、交番が1箇所も無いので平佐西地区に1箇所検討してもらいたい。	防災安全課	薩摩川内警察署に問い合わせたところ、現在平佐西地区を管轄している川内中央交番は、平成12年3月10日に、従来の太平橋交番と川内駅前交番との統廃合により、人員の集中と管轄区の見直しを行い機能の充実を図ったものであり、今のところ新たな交番を設置する予定はないとの回答であった。 本市としては、薩摩川内警察署はじめ、薩摩川内地区防犯協会などと連携しながら諸対策を講じているところであり、併せて川内駅やきやんせふるさと館内の事業所及びタクシー協会、周辺自治会などの皆さんに、川内駅周辺でかけこみ事案等があった場合は、ただちに当事者の身体を保護するとともに、速やかに110番通報をしてもらうようお願いしているところである。	回答のとおり			
7	平佐東	旧楠元駅から楠元上まで道路改良されているが、残りの改修部分が吉野山まで約670m残っているので、早急に完成して下さるように要望する。	建設整備課	未整備区間のうち一部区間については、跨線橋の撤去、埋め立てを行い一部舗装等を行ってきておりますが、抜本的な改良は行っていません。残された区間については、旧国鉄宮之城線は宅地及び田畑より一段高い場所に位置しているため、利用しづらい道路になること、鉄橋部分については幅員拡幅をし新たな橋梁を架けるため多くの事業費を必要とすること等、多くの課題を抱えているため、平行路線である市道楠元木屋園線等の改良等も含めて研究して参りたい。現在、この地区では市道戸田長野線を年次的に整備しており、まだ2年ほどかかると思うが、まずは戸田長野線を優先して参りたい。	平成21年度調査予定			
8	平佐東	現在の飯母橋は、昭和30年ごろ樋脇川の氾濫による流出で、緊急に建設された橋であり、当時は資材や予算も乏しく最低限のコンクリート橋を建設されている。特に災害時は樋脇川の水量も多く、橋が揺れるために大変危険であるため早急に調査をし、架け替えに着手するように要望する。	建設整備課	国の施策として、長寿命化修繕計画策定事業が創設された。この制度を活用しまして、平成21年度から既設橋梁（橋長15.0m以上）の調査し、計画策定を行う予定としている。飯母橋についても、調査の対象として、その結果をみて対応をしたい。	平成21年度橋梁長寿命化事業に係る調査を予定			
9	平佐東	昨年の大水害で小学校周辺は堤防が決壊したために住宅等が冠水した。二度とこのような大災害が発生しないよう強い堤防を構築していただきたい。	建設政策課	現在、県の計画では堤防、道路とも周辺の改良等の計画はないということだが、災害防止、生活の安全安心の観点から浸水被害が発生しないように県に対して、改善を要望して参りたい。 また、市としては、この地区では現在、吉野山排水ポンプ施設の河川災害復旧工事を実施中であり、この工事にあわせて、ポンプの増設工事に入っている。	樋脇川左岸堤防の嵩上げについて県へ要望していきたい。・・・（H20年度国・県要望に登載予定）			

平成19年度 川内南中校区（11月22日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
1	永利	和田自治会内から白谷自治会までの県道36号線の道路が狭く急カーブで大型車が離合出来ない。又、永利小学校児童の登下校時も危険である。	建設政策課	川内郡山線につきましては、現在、市内宮崎町において歩道整備が実施されている。 当該川内郡山線の百次町から市比野上手及び藤本地区をはじめ、川内祁答院線の永利町から塔之原杉馬場地区など、朝夕の通勤車両や大型車両等の交通量が多いにも係わらず、道路幅員が狭小でカーブも多く歩道も設置されていない路線がある。交通安全の確保や渋滞の解消を図るため、県に対し、改良等要望しているところである。 しかしながら、現在県においては、当該地区を整備する計画はなく、また、厳しい財政状況に加え、事業の絞り込みも行なわれている状況で、新規の事業化は、整備中の区間の事業の進捗状況と財政状況等を見て判断するとの考えである。 厳しい状況であるが、当該区間の整備の必要性については交通安全上も認識しており、今後も事業の実現に向けて県に対し、整備要望を行っていききたい。	回答のとおり			
2	永利	現在地区コミュニティ協議会 環境整備部が日笠山観音付近に17年度からアジサイの苗1,000本の植樹5ヵ年計画で公園整備をすすめています。 市も登山道路や展望台等建設し薩摩川内市の公園として建設を進めてもらいたい。	建設整備課	前回のふれあい市民会議においても、利用状況等調査し、検討したいと答弁したが、財政状況も厳しく、整備もままならない状況ですので当面、地域の力を結束され、アジサイ園等整備していただければありがたい。 市としても、必要に応じて原材料や植栽に必要な材料等の支給ができるよう検討していく。 また、大変いい例として、峰山コミュニティ協議会で進めている柳山アグリランドも地域の力を結集して、提案公募型事業の採択を受けるなど、色んな知恵を出し合い整備を進めているので、参考にしていただければと思う。	公園事業としての計画はない。			
2	永利	市も登山道路や展望台等建設し薩摩川内市の公園として建設を進めてもらいたい。	林務水産課	林道日笠山線については、平成17年度のふれあい市民会議で要望がありました維持補修について、洗越の改修工事及びコンクリート舗装の補修について、17年度中に実施している。 今後も、林道区域内の維持補修については、逐次補修をしていく予定であるが、現地調査を行った結果、林道として維持補修を早急に実施する箇所はなかった。 なお、当林道の除草作業については、毎年実施している。	要望のあった林道から公園への入口付近の整備については、20年度に実施した。 林道の維持管理において、除草作業は毎年実施しており、補修については即対応している。			

平成19年度 川内南中校区(11月22日開催) 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況(H19年度末現在)	地区振興計画	H20当初予算	完結分
3	永利	外回り循環線の建設促進について、永利タイヨ一付近より百次町を通り隈之城大原野付近から隈之城インターへと計画予定のある道路である。 道路が出来ると県道42号線の渋滞の解消、インターへのアクセスがよくなり永利、隈之城の発展に寄与する。	都市計画課	外環状道路については、現在、中郷地区、田崎地区において一部完成し、天辰地区において土地区画整理事業と併せて整備を進めている。 永利タイヨ一付近より南側については、概ね10年以降の整備としているところであるが工事は未定である。南九州西回り自動車道薩摩川内都インターチェンジへのアクセスについては、まず宮崎バイパスを活用することとし、その早期整備に向けて県に強く要望を行っている状況である。引き続き要望を行っていきたい。	永利地区の主要地方道川内加治木線から南九州西回り自動車道(薩摩川内都IC)間については、平成元年度に調査した「川内市都市開発計画策定調査」の大きなルート計画で、具体的なルート線形は決まっていない。 南九州西回り自動車「薩摩川内都IC」へのアクセスについては、まず、内環状道路である宮崎バイパスを活用することとしており、その早期整備に向け県に強く要望しているところである。平成19年度も要望活動を実施したところである。			
4	永利	現在市民病院付近で建設を中断している横井線の道路を今後整備してほしい。 永利地区の生活基盤となる横井・大原野新設を行政の方で、再度検討していただきたい。	建設整備課	前回のふれあい市民会議でも答弁したが、国道・県道と連絡する幹線道路は大型ダンプ等の通過車両が多くなり沿道の市民病院、福祉関連の事業所等への騒音・振動または交通事故等影響等が懸念されるため、慎重な検討が必要と思われる。 今後の道路整備については、校区内で優先順位を決めて頂き、要望道路の必要性や財政状況等を勘案しながら整備をすることになる。	計画されていない。			
5	永利	百次下別府自治会松原坂の拡張について、坂が狭く急で曲がりくねっている為、車の運転時頂上付近では左右が確認しづらい。 又、登下校時の児童が危ない。	建設整備課	当該道路である市道百次・赤沢津線は、県道川内郡山線と指摘の交差点までの高低差が大きく、規定の道路勾配が確保できないことから、抜本的な拡幅改良は、難しい箇所であるため、平成14年ごろから蓋付きの側溝の整備を行ない、一応完了している。 頂上付近には、共同墓地もあり、隅切も容易に出来ない状況にある。 交通安全対策として、予告マークや一時停止表示等にて 事故防止や児童の安全確保に努めたい。	地形的条件で道路改良は、無理。交通安全面の整備を行なう。			
6	隈之城	前回のふれあい市民会議で提案し、平成18年度に適地調査、緑の基本計画策定19年度～20年度当公園予定地区も基本計画に搭載すると回答があったが、進捗状況を知りたい。	建設整備課	前回のふれあい市民会議において、ご要望の公園新設については19年度から策定予定の「緑の基本計画」に位置づけることとして答弁した。 隈之城地区の公園計画については、隈之城地区全体からの利用を考えて、場所の検討が必要であると思う。 薩摩川内市緑の基本計画については、平成19年度から策定予定だったが、財政的な調整や都市計画区域の検討を行っていることから、策定期期を見合わせているところである。 候補地の現地調査を、1月に行ったところだが、宮崎バイパス路線の計画もあることから、その状況を見ながら候補地を絞り込み、緑の基本計画に位置づけてまいりたい。	現在検討中。具体的計画はない。			



平成19年度 川内南中校区(11月22日開催) 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況(H19年度末現在)	地区振興計画	H20当初予算	完結分
7	隈之城	<p>薩摩川内市には既に放射能漏れの恐れがある原子力発電所があるのに産業廃棄物最終処分場候補地として県が選定したことについて、市長の考えを聴かせてください。なぜ、県に対して拒否できなかったのですか。</p> <p>8月18日隈之城地区コミュニティ協議会が産廃処分場建設について、その賛否を問うための臨時総会を開催しました。出席した代議員は63名で投票の結果建設反対41・賛成5・白紙17でした。3分の2が反対を表明しましたが、このことについて市長の考えを聴かせてください。</p> <p>9月23日に県が実施したボーリング跡地での透水性水圧実験で15分足らずで水位が11mm下がった。水位が下がった水がどこにいったのか県から明確な回答はない。水が岩盤を浸透し地下水を汚染する恐れがあった場合の市の対応を聴かせてください。</p>	環境課	<p>について、産業廃棄物管理型最終処分場の候補地に川永野地区が選定された経緯については、県の説明会、県作成のリーフレットや、これまでの新聞報道でご承知のことと思います。市としては、産業廃棄物管理型最終処分場は、本県における循環型社会の形成や企業誘致など地域産業の振興を図る上で必要な施設であることは認めるところである。そのために県が主体的に取り組んできた。地元説明会でもあったとおり、県の説明では、川永野地区が埋立容量等の一般的要件を満たしていることに加え、現地調査や所有企業が実施した調査結果を県が確認したところ、産業廃棄物管理型最終処分場の整備に当たって懸念される部分がほぼ解決できるところであった。また、県が産業廃棄物管理型最終処分場の候補地の選定の経緯・理由等について、地域の皆様に説明し理解を求めていきたいとの意向であったこと、県としても調査を実施することによって、県が調査を実施し、検証することが必要である、そして調査結果を踏まえ、市議会、地域の皆様方の意見を拝聴し、市の意見を述べることにしたところである。</p> <p>次に、についてであるが隈之城地区コミュニティ協議会は48地区コミュニティ協議会の中でもモデル的なコミュニティ協議会として、みんなで明るい豊かな隈之城地区を創り上げている。今後、県の調査結果が出され、これに対する市議会や地域の皆様方の意見を拝聴し、市としての判断することになる。調査結果を待つ結論を出すまでには、しばらく時間を要すると思う。なお、現在県では、ボーリングによる地質調査を行っており、9月23日に行われた静水圧透水性実験の結果も含め、調査結果を取りまとめ、県産業廃棄物専門委員会の意見を聞いた上で、地域の方々や市議会にも説明をするところになる。</p>	<p>昨年5月に県は川永野町を候補地と決定し、本年7月まで立地可能性等調査を実施されてきた。整備地決定とは、処分場の立地は可能であり、処分所を整備するためには、具体的な計画を進めていく手続きを始めることと理解している。これまでの県の立地可能性等調査結果によると、処分場を建設するために障害となるような欠陥や、周辺環境に影響を与える懸念される要素はない。本市議会も処分場建設促進の陳情を採択している。地域住民の中にもいろいろな意見があるが、その懸念に対しては県が引き続き説明し、全責任を持って安全・安心な施設の建設、運営に努めて行かれると言うことであり、知事もそのことを明言されている。以上のことを踏まえ、県が整備地に決定することについては、関係地域の住民感情を思うとき、複雑な思いも感ずるが、循環型社会の形成や、公共に利益に鑑み、真にやむを得ないと思慮する。今後法律や県要綱に基づき、処分場整備に必要な手続きを進めて行かれると思いますが、地域住民の懸念の解消や地元住民の参画等、解決しなければならない課題もあります。今後、施設の安全性、住民への説明責任、地域振興策について、切実な対応と丁寧な説明を県へお願いした。</p>			
7	隈之城	<p>建設候補地は隈之城の水源 冠嶽中腹に位置し、災害危険地域であり、砂防ダムの崩壊のおそれもある。</p>	建設政策課	<p>砂防ダムの目的は、大水で流されてきた土砂や土石流のため、土砂等流出などによる被害を未然に防ぐことである。</p> <p>建設候補地付近には、阿茂瀬川火山砂防事業により砂防ダム(堰堤)が3箇所設置されているが、流域面積や洪水流量等を考慮し、堰堤の高さ・長さ・貯砂量が設計され、平成12年から平成14年にかけてそれぞれ完成しているところである。</p> <p>県からは、「今回の候補地は、砂防地域ではなく、また、最も近い砂防ダムから100メートル以上離れており、管理型処分場建設にあたっては影響のないものと判断している。」と聞いている。</p>	回答のとおり			

平成19年度 川内南中校区(11月22日開催) 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況(H19年度末現在)	地区振興計画	H20当初予算	完結分
8	隈之城	18世帯の永野段自治会は市水道がなく、井戸水を使用している。今年は雨が少なかったため3世帯が漏水しており、生活に大変困っている。温暖化もあり、これからが心配である。早急に市水道を引いて欲しい。	上水道課	<p>永野段地区は上水道の永野配水池から高さで約40m、距離で約800m離れた高台である。</p> <p>永野段地区でも過去、井戸枯れなどが発生しており、平成16年には全戸の聞き取り調査を実施している。自治会未加入者を含め20世帯があり、このうち6世帯が深井戸ボーリングを所有されており、また4世帯は深井戸ボーリング世帯から水を分けてもらって共同利用されており、水問題はない。残り10世帯は井戸を掘っているが、深さや位置の関係から漏水に強い世帯が6世帯で、実際に井戸枯れなど水不足で困窮されているのは4世帯を確認している。</p> <p>この永野段地区20世帯に水道を引くとすると、永野配水池からポンプで押し上げて給水する方法がもっとも経済的であり、事業費1億2千万円ほどになるものと試算している。問題は、これほどの投資をした場合、全所帯が負担金を払っていただき、自宅内の給水工事をして水道に加入されるか、大半の水を水道から利用して頂けるかということになり、現実としてはかなり厳しいと考える。</p> <p>将来の永野段地区の発展を考えて、大きな水道を通すとなれば、自衛隊駐屯地のほうから今ある管を大きな管に布設替をして2億5千万円程度の事業費となる。</p> <p>他の方法として農業者向けの『営農飲雑用水施設整備事業』もあるが、受益者が10戸以上、利用者の50%以上が営農者であること条件があり、採択は無理であり、また地元負担金も生ずる。</p> <p>このほか防衛省の『障害防止事業、民生安定事業』で出来ないか当時の福岡防衛施設局からも来られ現地調査をしていただいた経緯もあるが、因果関係に乏しく補助は無理との結論である。</p> <p>いずれにしても永野段地区全員で話し合う機会をつくっていただき、水道局や農政サイドも含めて、どの方法がよいのか協議をさせていただければと考えている。</p>	<p>永野段地区例会において水道事業での実施には無理がある旨の説明会をおこなった。</p> <p>南九州道トンネル工事に、地区の井戸水・地下水状況説明をしてある。</p>			
9	隈之城	19年度予算委員会で赤沢津の拡幅改良工事予算が計上されたと報告を受けたが、工事着工の予定と見通しはどうなっているのか。	建設整備課	<p>この要望については、前回のふれあい市民会議で出されたが、市道宮崎勝目線については全体的な改良計画は、現在のところ予定していないが交通量も多いこと、子どもたちの通学路にもなっていることから交通安全確保のために、部分的な拡幅工事を予定しているところである。施工場所については、地元と協議し銀屋歯科前付近を実施することとしている。</p>	維持的工事に対応。			
その他	-	永野段には防火水槽が1基も無い。	警防課	20t級の水槽を来年度予算に計上するよう指示してある。	平成20年度予算計上済み			

平成19年度 川内南中校区（11月22日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末現在）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
その他	-	天然記念物に指定されているおがたまの木の手入れについてですが、枝が裂けたようになっているので添え木をしていただきたい。	文化課	前回のふれあい市民会議では、カズラが巻き付いているということだったのでカズラは撤去した。その後、横木が出ているということで文化財審議委員・県・樹木医・教育委員会に見ていただき検討した結果、添え木をしたら折れやすくなる可能性があるということで、しばらくは様子を見ることにしている。	添え木をすると折れやすくなるということであり、現在は様子を観察中である。			
その他	-	会議で出た意見・答弁が言いつばなし、聴きつばなしにならないよう経過等知らせていただきたい。	広報室	他の会場でもその様な意見があり、答弁要旨・進捗状況を各地区コミに送っているし、市のHPにも載せている。本日で計画しておりました7回の「ふれあい市民会議」が終了しますので、総括を行って連携をとって途中経過も含めて報告するようにする。	答弁要旨等、まとめ次第地区コミュニティ会長宛に送付し、市ホームページにも掲載している。できるだけ早く報告できるようにしてまいりたい。			

平成19年度 里・上甌地域ふれあい市民会議（9月27日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
1	里	荒切川の排水路の整備をお願いしたい。 尚、排水機場は30年以上経過し、老朽化していると思われるが、災害時に対応できるのか。管理については、専門家に委託しなくてもよいのか、検討していただきたい。 水月川は、台風など暴雨時と満潮が重なった時、流域一帯に浸水の被害が出たことがあったが、水門開閉の動力ポンプの設置をお願いしたい。	建設維持課	荒切川は、河川幅の狭い箇所につきましては、現地調査を行い流下能力を高めるための方策について検討する。 また、荒切川排水機場は、県の施設であり、業務委託契約を結び維持管理を行っている。なお、通常の施設管理や排水ポンプの運転・水門の操作については、市の職員が従事しておりますが、今後は、地元の状況に精通した方に、嘱託員として委託出来ないか検討する。また、この施設も相当年数が経過しており、排水ポンプの取替について県へ要望する。 水月川の水門は、市の管理施設であり、この箇所への排水ポンプ設置については、今後、状況を見ながら検討してまいります。	荒切川排水機場及び水月川水門の管理については、平成20年度から嘱託員を配置した。 荒切川排水機場ポンプについては、現在、大きな不具合は生じていないが、年数が経過していることから、引き続き県へ要望してまいりたい。 水月川水門の排水ポンプの設置については、今後も状況を見ながら検討したい。			
2	里	イターン者の希望など、行政の相談窓口を積極的に機能させていただきたい。	企画政策課	定住相談を受ける定住支援センター職員を各支所にも設置しているので、気軽に支所地域振興課へ尋ねてほしい。 なお、定住への呼びかけ等を行い、定住に結びついた場合、団体及び連絡員に対し謝礼を支払うおかげで支援事業を実施している。また、定住希望者に、地域を実際に体験していただく「余暇交流体験モデル事業」も募集している。地区コミュニティ協議会で是非検討していただきたい。	定住支援センター事業で実施済みである。			
3	里	使用料が徴収されることになれば、自主サークルやボランティアグループの活発な活動は望めないし、せっかく起動し始めたこれらの活動は衰退していく。いくつかの役割を担っている島の市民の活動状況を考慮していただきたい。	社会教育課	御指摘の自主サークルやボランティアグループなどの活動につきましては、生涯学習の推進を図る観点から、社会教育上適しているということで、施設使用料並びに設備使用料については、その使用料の5割を減額としたところである。 公民館を中心に生涯学習の推進を図り、講座・教室等を充実させるためには、使用料を全額免除にするという考えもあるかとは思いますが、館の維持管理や受益者負担の原則からも、基本的には使用料を負担していただきたいと考えている。	平成19年7月より公民館条例施行規則を改正し、中央公民館並びに地域公民館では、左記回答のとおり統一的な減免のもと使用いただいている。 なお、現在の自主サークル等の利用状況につきましては、1同好会が指導者転出により解散、1サークルが休止状態であるが、そのメンバーが他の同好会に入会し活動をしている状態である。			
4	里	季節風や台風、西風の強い日は、砂浜の砂が飛沫とともに、沿岸の家と畑など広い範囲に飛散し、住居の外壁や窓を傷め、住居の内にも侵入し、作物の育成にも被害をもたらしている。早急に、対策をたてていただきたい。	建設政策課	対策としては、波返し擁壁上部に防砂ネットの設置や緩傾斜護岸の整備などが挙げられるが、景観阻害などを理由に反対意見が上がることも考えられるが、現在、公共事業を取り巻く環境は大変厳しいものがあり、住民や関係者の理解が得られない事業への投資は認められにくい状況にあるため、西海岸にお住まいの皆さんと関係者の皆さん方で解決方法について意見の集約をお願いする。市は、その集約された意見をもって、関係機関と対応策について協議したい。	対応策について地元住民等との調整を行っている。			

平成19年度 里・上甌地域ふれあい市民会議（9月27日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
5	里	市道・江石里線は、道路の幅員が非常に狭く、急カーブが点在し車同士の離合すら危険な状況である。改良を早期にお願いしたい。	建設整備課	市道総延長 10,685mあり全線の整備には多大な財源を必要とすると共に長い年月を要するため、昨年から急カーブ区間等を落蓋側溝により整備し脱輪防止及び離合の緩和を図った他、舗装状態の悪い箇所の改修を行った。今年度以降も順次、急カーブ箇所の改修等々を進めてまいりたい。	平成20年度で調査を開始、要整備箇所が多く、調査結果から危険性や優先度等を検討し、少しずつでも対応することとしている。			
6	上甌	市道中甌・江石線のトンネル整備について長年要望を続けている。財政等大変厳しく困難のこととは思いますが是非実現に向けお取り図らいくください。	建設整備課	トンネル及び道路改良は計画延長は約1,500m、取付道路等を含むと約20億円以上の財源が必要と試算されている。事業費を抑えるための工法検討と補助事業等として採択が可能であるのか等協議研究中であると共に各地区の継続事業等との調整を行い財源確保に努め事業実施できるよう努力したい。併せて実施計画への登載を検討したい。	平成21年度に実施計画に搭載する。現在、上甌支所にて用地調査等の準備に入っている。近日中に県と協議し、補助事業等の導入について検討することとしている。			
7	上甌	平良矢崎沖の漁礁が砂に埋もれたのか、以前の状態との変化が見られ、それと共に漁獲量も急減しております。漁業生産の向上と漁家経営の安定を図るためにも、この魚場の調査と漁礁の設置について検討をお願いします。	林務水産課	甌島漁協と協議し漁協に魚群探知機等による確認調査を行ってもらうとともに、平成18年度から20年度まで甌島地域水産資源再生調査を実施する中で、水中カメラ・DPS等による現況調査と藻場再生、資源調査を行いながら魚礁の設置についても検討していきたい。	魚群探知機による調査を当該魚礁付近で行ったところ、魚礁の反応は確認された。水揚げ対象であるアジ・カマス等については、回遊魚でありさまざまな周辺海域の要因で魚礁への蟻集が考えられるため、調査を引き続き行っていきたい。			
8	上甌	本町では住家として利用可能な空き家がたくさん見られる。空家の改修等に補助をして定住促進を図る方策は、考えられないか。	企画政策課	本年度中に再検討を加えリフォームに対する補助についても十分検討する。本年度から定住希望者に、地域を実際に体験していただく「余暇処交流体験モデル事業」を実施している。地区コミュニティ協議会で是非検討していただきたい。	平成19年度末に条例を改正し、平成20年度から定住住宅リフォーム補助金制度を新設したところである。			

平成19年度 里・上甌地域ふれあい市民会議（9月27日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
9	上甌	すのさき荘・観光センター・学校給食センターの公共施設が利用されずにそのままになっている。市の方では施設活用の方策を色々考えていることと思うが、今後の方策はどうするのか。現在、施設の周囲は草木が立って環境上も悪い状態である。	財産活用推進課	すのさき荘については、アウトソーシングの方針によって、本年5月に一般競争入札により処分することとしていたが、参加申込みがなかった。今後、応募資格（現在は、市内に住所又は所在地を有する個人又は法人）又は価格の見直しを行い、早期売却に努めて参りたい。また、周囲の草木については定期的に除草等を行っているところである。	すのさき荘については、アウトソーシングの方針によって、平成19年5月に一般競争入札により処分することとしていたが、参加申込みがなかった。応募資格（平成19年は、市内に住所又は所在地を有する個人又は法人）及び価格の見直しを行い、平成20年6月に一般競争入札により処分する予定である。（応札なし）周囲の草木については定期的に除草等を行っているところである。			
9	上甌		観光課	「上甌観光センターながめ」は、昭和49年に鹿児島県の補助を受けて設置した施設だが、利用客が極端に減ってきたため、平成18年度から使用休止としたところである。しかし、直ちに施設を廃止すると、県に対して補助金の一部を返納しなければならないことから、しばらくは現状のまま保存せざるを得ない状況である。また、施設自体は大変老朽化しており危険な状態であることなどから、そのままの使用再開は難しい状況と考える。なお、施設周辺の清掃は、市が直接行っていく。	現在の管理を継続する。			
9	上甌		学校給食課	上甌学校給食センターは、学校給食施設整備費補助金に係る財産処分承認申請に基づき、防災用備蓄倉庫として利活用することで文部科学省の承認を受けている。現在、施設の車庫を上甌支所で使用しているが、施設内には、厨房備品等が残っていることから、関係課と調整を図りながら備品等の整理を行い、本市の防災用器財の備蓄倉庫として使用することで調整を図っている。	旧上甌学校給食センターは、現在、防災資機材倉庫として利用している。また、車庫についてもスクールバスの車庫として利用しており有効活用がなされている。  （平成19年4月1日に分類換え、所管換えを行い、施設名称も上甌支所防災資機材倉庫と変更しており、現在は上甌支所地域振興課の所管となっている。）			
10	上甌	少子化の中、児童生徒数が少なく教職員の数も減少している。教職員住宅の空き家が増えると思われるが、この空き家対策として市営住宅への転用等、用途変更は考えられないか。	教育総務課	上甌地区の教職員住宅については、37戸を管理保有しており、児童生徒の減少に伴い教職員数も減少していることから、現在8戸が空き家の状態となっている。平成17年度から空き家対策として、入居の見込みがない教職員住宅については、用途廃止を行い建設部の所管する一般向け住宅に所管替えを行っている。今後も建築住宅課と充分協議を行いながら、使用可能な住宅を一般住宅等へ用途変更をする予定である。	平成19年度中に7戸を一般住宅へ用途変更済みである。			

平成19年度 下甌・鹿島地域ふれあい市民会議（9月28日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
1	手打	農林道の整備等については、道路の雑草木の伐開など行政で行っているが、側溝については、土砂崩れ等によりふさがれ、機能していない部分が多く見られ、手付かずのままである。住民の安全を守るうえからも、人家近くの部分だけでも、早急な側溝の清掃をお願いしたい。また、溜枘等の増設も検討していただきたい。	林務水産課 耕地課	7月3日から4日の豪雨により法面の崩壊で側溝をふさいでいる箇所が多数発生している。国の災害査定受験のために取り除きが遅れていたが、今後、取り除き作業を実施する。除草作業も今後業者に依頼して実施していくので、その作業の中で、土砂等で側溝をふさいでいる箇所については取り除いていく。 また、溜枘等の増設については、関係する路線の現地調査を行い、人家等が被災することのないように対処する。	平成19年度の豪雨災害に伴う災害復旧工事は、全て完成いたしました。 側溝清掃も併せて実施済みです。 今後も、農林道の維持管理については、適切に実施してまいります。			
2	手打	少子高齢化に伴う過疎化現象により、使用不能の空き家が急増している。荒れ放題の空き家も多くあり、台風時など瓦や廃物が飛び散り、隣家に被害を与えている例もあり、また、著しく景観も損ねている。個人の財産権を侵してはならないことはわかるが、現に他人に迷惑をかける放置廃屋に対する対策はないものか検討をお願いしたい。	環境課	隣家に被害を与えている場合の利害関係については、当事者双方の民事の問題であり市役所が立ち入ることはできないところである。ただし、環境美化の推進として、土地建物等の所有者等は、土地、建物及び周辺を清潔に保たなければならないことから、所有者または管理人等を調べて改善の依頼をすることはできるため、現状を確認して対応させていただきたい。	親戚等がおられる方については、随時お願いしているが、費用が伴うことから解体等は翌年度以降となる。 なお、1軒の解体に数百万の経費が掛かることから、早急に解体もできないと思われるため、今後も所有者（管理者）の方に協力をお願いしていきたい。（参考：H20年度に5件の解体実施有り）			
2	手打	少子高齢化に伴う過疎化現象により、使用不能の空き家が急増している。荒れ放題の空き家も多くあり、台風時など瓦や廃物が飛び散り、隣家に被害を与えている例もあり、また、著しく景観も損ねている。個人の財産権を侵してはならないことはわかるが、現に他人に迷惑をかける放置廃屋に対する対策はないものか検討をお願いしたい。	建築住宅課	空き家を含む既存建築物の維持保全については、建築基準法第8条により、所有者等が敷地、構造及び建築設備を常時適切な状態に維持するように努めることが規定されている。それによりまして、客観的に見て著しく保安上危険となる恐れがある老朽化した建築物に対しては、行政指導を行うことになる。ただし、「著しく保安上危険となる恐れがあるもの」の判断には、高度な客観性に基づいて行う必要があるため、地域の自治会や消防等の関係機関と連携を図りながら、建築物の管理者、所有者に対して適切な維持保全のお願いをすることになる。	平成19年度は、個別に議題内容に係る相談等はなかったが、今後も相談等があった場合は、関係者と連携を図りながら所有者等をお願いしていきたい。（都市計画区域外における、建築基準法に係る指導権限は県となります。）			
3	子岳	子岳地区内を流れる川の多くは、木々や竹などが覆いかぶさる、土砂が溜るなどの、風水害の起こりやすい状況となっている。今年度の多雨時期にも土砂崩れが起こっており、木々や竹の抜開、土砂の取り除きなどを早急に検討してもらいたい。	建設維持課	今年度土砂崩壊が起こった箇所は県管理区間であり、現在復旧工事中である。地区内の河川を覆う木々や竹の伐開及び土砂の取り除きについては、県管理と市の管理の両区間にまたがっており、県管理区間については県へ要望し、市の管理区間については対応を検討したい。	市管理区間は平成20年度下半期に実施予定。 県管理区間については引き続き要望する。			
4	青瀬	青瀬地区において、単身赴任者や未婚者などの男の一人暮らし世帯が増えています。そこで、地区コミ協議会で健康増進をねらいとして、「男の料理教室」を計画しましたが、実施が思うようにできません。それは、今のコミセンの厨房設備は、ガスコンロや調理台及び流し台が一般家庭用で小型である。早急に整備していただきたい。	コミュニティ課	地区コミュニティの生涯学習施設として、近隣の市の施設に調理室を設置してある場合を除いて、地区コミュニティセンターに学習のできる調理設備を設置しているところである。青瀬地区のコミュニティセンターにも調理室を設置してあるが、調理台等が家庭用になっており、学習用としては使い勝手の悪いものとなっているので、なるべく早い機会に学習のできるタイプを設置したいと考える。	平成20年度（2月下旬）整備予定である。			

平成19年度 下甌・鹿島地域ふれあい市民会議（9月28日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
5	青瀬	青瀬地区内には、雨水や生活排水などを処理するため多数の排水路が網羅されているが、まとまった雨が降ると、排水溝から水が道路にあふれ出てくる箇所がある。出口がふさがれているためだと思われるので、調査のうえ、改善していただきたい。	建設維持課	排水溝の出口については、海岸の防波堤に排水口が設置されている。この排水口については、設置してある高さが低く、海岸に打ち寄せられた砂に埋まっており、まとまった雨が降った時は、排水が効かなくなっていた。このため、防波堤の管理者である県との協議を行い、排水口の高さを調整し、速やかに排水できるよう排水の系統及び工法を含めて検討したい。	暗渠の位置を高くし、改善を実施した。（H19）			
6	長浜	芦浜海岸は近年、海砂が侵食され、護岸の近くまで海面が迫り、少々の時化でも波浪が護岸の根元を洗い、護岸近くは石ころが丸見えになっており、満潮時には砂浜が全く無くなり、海水浴ができない状態である。安全な海水浴場の整備を要望する。長浜港の整備により、時化のときの波高が高くなっており、災害の未然防止や海水浴客の事故防止のためにも波高を抑える施策を講じてもらいたい。	観光課	芦浜海岸には、観光客の便宜を図るため、バンガロー、シャワー室、トイレ棟、炊事棟を整備し、通年型のキャンプ場として開設している。一方、砂浜については、あくまで自然の海岸と考えており、市で監視員を配置して管理する海水浴場として開設しているものではない。また、今後も市指定の海水浴場を開設する考えはない。ただし、海砂の侵食により、遊泳ができない状況が発生しているので、海水浴を楽しむ市民及び観光客の事故防止のためにも看板等を設置し注意を喚起したい。	現在の管理を継続する。 事故防止のための看板は設置していない。			
6	長浜	芦浜海岸は、海岸保全区域に指定されている。目的は、高潮、波浪、津波から人命・財産を守るため、海岸法に基づいて知事が指定した区域で県が管理を行なっているため、平成13年度、侵食防止対策について地元からの陳情に基づき、県へ要望したところである。市としては、海沿いの市道長浜芦浜線のバイパスとして、集落の裏側にあたる山側に道路新設を行い、道路使用時の安全性は確保したところである。今後も、災害の未然防止や海水浴客の安全確保のため、また、地域住民が安全で安心して生活できるよう、芦浜地域の被災防止対策を県に対して要望していきたい。	建設政策課	芦浜海岸は、海岸保全区域に指定されている。目的は、高潮、波浪、津波から人命・財産を守るため、海岸法に基づいて知事が指定した区域で県が管理を行なっているため、平成13年度、侵食防止対策について地元からの陳情に基づき、県へ要望したところである。市としては、海沿いの市道長浜芦浜線のバイパスとして、集落の裏側にあたる山側に道路新設を行い、道路使用時の安全性は確保したところである。今後も、災害の未然防止や海水浴客の安全確保のため、また、地域住民が安全で安心して生活できるよう、芦浜地域の被災防止対策を県に対して要望していきたい。	砂浜が復元しつつあり、状況を見ながら要望していきたい。			
7	長浜	新設される藺牟田瀬戸架橋の効果を上げるためにも、芦浜トンネルを集落付近に掘削し、長浜から海岸線を架橋で結ぶ道路を新設して頂きたい。	建設政策課	芦浜トンネルは、昭和59年建設された長さ383m、幅員7mの2車線であるが、標高約280mの山頂付近に位置しており、台風等自然災害等を受けやすい状況にある。現在県において、藺牟田瀬戸架橋を含め鹿島上甌線の建設事業が進められている他、県道手打藺牟田港線で手打工区、長浜工区で建設工事が実施されているところである。本市においては、現在事業中の早期整備促進と要望区間である「長浜～鹿島」間の早期事業化を要望しているところである。今回の要望については、壮大な構想であり、今後の検討材料とさせていただきたい。	県に対し、甌島縦貫道の整備促進と藺牟田瀬戸架橋の建設促進を要望するとともに「長浜～鹿島」間の早期整備計画と早期事業化を要望したところである。			



平成19年度 下甌・鹿島地域ふれあい市民会議（9月28日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
8	内川内	内川内避難所の近くにあるダムからの排水は、側溝を流れて道路脇から崖へ落ちるようになっているが、その側溝が直角に折れて作られており、梅雨や台風時には、その角部分から大量に水が溢れ、近くの里道及び市道に流れ出し、がけ崩れ等の被害を引き起こしています。側溝を、水の流れに添った向きに変えていただきたい。前回のふれあい市民会議でも提出し、実験的に側溝の角部分に木の蓋をして様子を見ているが、やはり今年の大雨には水が大量に溢れていた。早急な整備をお願いする。	建設維持課	この箇所については、昨年のふれあい市民会議で出されて、試験的に実施したものであります。しかしながら7月の豪雨ではまとまって流れたことから溢れたと思われる。このため、排水を途中で排水するなど、できるだけ水がまとまらないような形で、排水の改良を検討したい。	排水経路を変更し、改善した。（H19）			
9	内川内	市道長浜・内川内線と接続する林道西部線は、途中で行き止まりとなっている。内川内や瀬々野浦の住民が鹿島町に出かける場合は、峠を越え、長浜まで下りてから、鹿島町に行かねばならない。この路線が整備されれば、半分の時間で行けると思う。早急に整備されることを望む。また、昨年お願いした、内川内地区内の集落道整備は、その後どうなっているか。	林務水産課	当初計画では、旧鹿島村まで繋ぐ計画であったが、昭和52年度以降、開設予定路線の下に水源地があることから、住民から反対があり、事業を中止したと聞いている。路線整備として、県道349号線又は林道大崩線との接続が考えられますが、県道349号線への接続については、尾根を越えての接続となりかなり難しいと思われる。林道大崩線との接続については、利用区域面積、森林整備計画など補助事業の採択条件をクリアーできるか県と協議を行いたいと考えるが、高低差320mあるので十分検討させていただく。また、開設中止となった水源地の問題についても地元を含めて協議していきたい。	林道西部線の開設延長については、支所内において引き続き検討を行っている現状です。			
9	内川内		建設維持課	内川内地区は急勾配なこともあり、集落道の整備については、現在のところ工法などについて資料集め中である。ご迷惑をおかけしますがしばらくお待ちいただきたい。	特定離島ふるさとおこし推進事業により要望中である。			
10	西山	江川のの上流付近の水路内にダテク（竹の一種）が繁殖し、大雨のときに氾濫の可能性もある。毎年、行政で刈り取りはしているが、根元から取り除いてもらいたい。	建設維持課	江川は、市が管理する普通河川だが、一部県の砂防指定地になっている区域があり、これまでも県で伐採等を実施してもらっているのですが、氾濫しないようダテクの伐採と新たに浚渫等についても県に要望したい。	引き続き、県に要望する。			

平成19年度 下甌・鹿島地域ふれあい市民会議（9月28日開催） 進捗状況一覧

議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H19年度末）	地区振興計画	H20当初予算	完結分
1 1	西山	甌島敬老園の民営化が話題になっているが、それとは別の観点から、現在7～8名の入園希望者が待機中である。入園するまでに、2～3年かかる。何か別の方法は、考えられないか。	高齢・障害福祉課	島外の養護老人ホームも希望先として選択できる。また、生活支援ハウスもある。特別養護老人ホームは申し込み順に関係なく、入所判定員会で要介護度が重度の方から優先的に入所していただくようになっている。入所を急がれる方については、比較的待機者の少ない「鹿島園」や、上甌島の「こしき園」、「寿里苑」などに入所申込をするのもひとつの方法である。また、第3期介護保険事業計画では、甌島地域に整備するものとして認知症対応型共同生活介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護の3施設を予定している。 下甌でもNPO法人等を含め民間事業者が行う施設整備に対しては、補助金を交付し施設整備を推進することとしているので、この制度を活用した民間施設の整備を推進したい。	平成19年11月、認知症対応型共同生活介護施設（グループホーム：入所定員9名）が里町に開所。  《参考》平成19年度末生活支援ハウス入所状況 下甌生活支援ハウス 定員7名（入所者5名） 鹿島生活支援ハウス 定員10名（入所者3名） 里 生活支援ハウス 定員15名（入所者13名）			
1 2	鹿島	老人憩いの家に関するアウトソーシングは、地域公民館に併設しているコミュニティセンターを当施設に移設し、施設の有効活用を図れるようにしていただきたい。また、昭和47年整備された建物であり、老朽化が激しい。雨戸、トイレ、外壁等について早急に改修していただきたい。	高齢・障害福祉課	当施設は築35年を経過し老朽化が激しく、維持管理していくには用途を廃止することが望ましいと判断し、市アウトソーシング方針で決定したものである。 要望の当施設が、地区コミ及び自治会活動に不可欠であるならば、用途変更し、自主管理・運営を行なうことも可能ではあるが、それに要する改修費及び電熱光水費等維持管理費を市が負担することは行財政の健全化を図る上からも困難である。ただし、地区コミ・自治会で自主運営・管理していくのであれば、経費をかけない方法で、建物の無償譲渡・土地の無償貸与することも検討してみたい。	平成20年度当初予算に改修工事設計委託料、改修工事請負費を計上。  《参考》平成20年度予定 5月予算執行委託（設計） 入札・契約 設計開始 10月予算執行委託（工事請負） 入札・契約 工事開始 2月工事完了 3月議会（用途廃止条例上程） 無償貸付契約			
1 3	鹿島	小牟田建設海岸は、護岸が低いために台風襲来時に波が護岸を越え、また玉石等が飛散するなど、集落内が非常に危険である。建設海岸の護岸の嵩上げについて早急に改修してくださるよう県へ要望していただきたい。	建設政策課	以前から県に対し、住民が安全で安心して生活できるよう、消波ブロックの復旧や護岸の嵩上げなどを要望していたが、今後も継続して要望を行っていききたい。	県において、階段に胸壁（パラペット）を設置してもらい安全性は向上したところであるが、護岸の嵩上げについては、経費的に難しい面があると認識している。			
1 4	鹿島	蘭牟田地区は、道路の幅員が狭く、一旦火災が発生すると大火になる危険性がある。特に蘭牟田墓地の周辺は住宅が密集しており、付近に消防水利がないことから防火水槽の設置を要望する。	消防局	防火水槽の設置要望であるが、現在、薩摩川内市全域では消防水利の充足率は43パーセントですが、蘭牟田地区の消防水利の充足率は100%（基準数12に対し、現有数12）であり、他の地域に比べ充実している。また、今回要望の場所の周囲140m以内に適合消火栓6基、適合防火水槽が3基ある。 本市の防火水槽の建設は、消防水利の基準に基づき整備しているところであるが、市の均衡ある発展、安心・安全な街づくりという観点からも、危険地域や住宅密集地、水利の状況等の警防的見地を考慮しながら優先順位を設けて整備して参りたい。	左記回答のとおり、今後の鹿島町の町域の拡大等を見据えながら検討してまいりたい。			